

Science On a Sphere®とダジック・アースに出会って 今思うこと

(株)橋本道路

ディスカバリーセンター

千葉 真由美

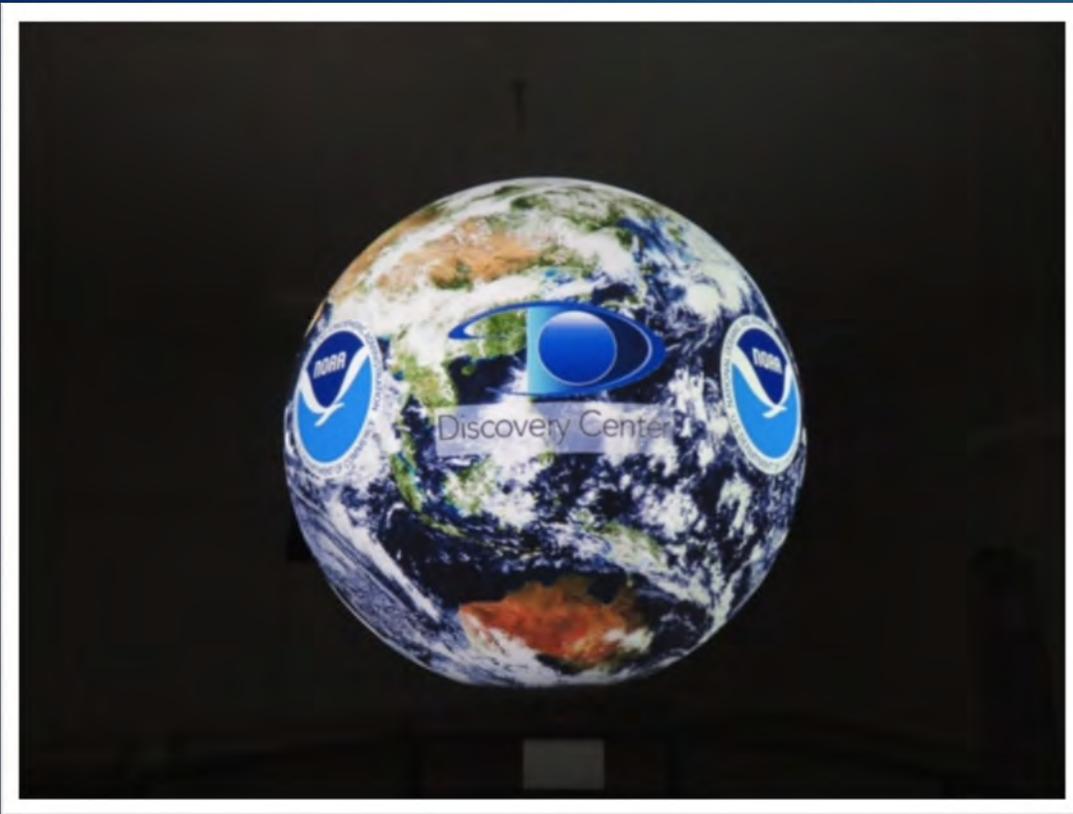
2011.3
東日本大震災



宮城県東松島市

「子どもたちの夢や希望、未来のために何ができるか？」
という社長の思い

2014.7 ディスカバリーセンター
オープン



アメリカ海洋大気庁(NOAA)が開発した
Science On a Sphere® (SOS)



旧縫製工場を改装



運営など全て(株)橋本道路
SOS専門スタッフ：1名（2018.12現在）

何が分からないか分からない。日本語で読んだり聞いたりしても分からないだろう。
NOAAに質問できるように英語のまま理解しよう。

日頃行っていること

挑戦と失敗の繰り返し...

①SOSシステムのこと

主に機械のこと：コンピュータ関連、プログラミング、日本語対応の確認
画像調整（アライメント）、プロジェクターのランプ交換など

②プレゼンテーションのための準備

何を見せようか、何を伝えようか...。
教育プログラムやデータ元のウェブサイトなどを利用
NOAAの勉強会に参加
SOS用の動画を繰り返し見る

③プレゼンテーション

声の抑揚、質問から答えまでの間
子どもたちの反応を見ながら、一緒に作り上げていく
「もっと知りたい」という気持ちをお土産に

+α 施設管理・維持



新聞スクラップ

The more I learn, the more I realize I don't know.
The more I realize I don't know, the more I want to learn.

Albert Einstein

学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。
自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる。

アインシュタイン

●繰り返す自問自答●

科学館ではない、教育機関でもない、このミッションは？



“Spark Curiosity”

好奇心を刺激し、「なぜ？」と思わせる。

「感動、発見、そして未来へー」

ダジック・アースと出会ってから



フレア博士がやって来た！



夢のコラボ

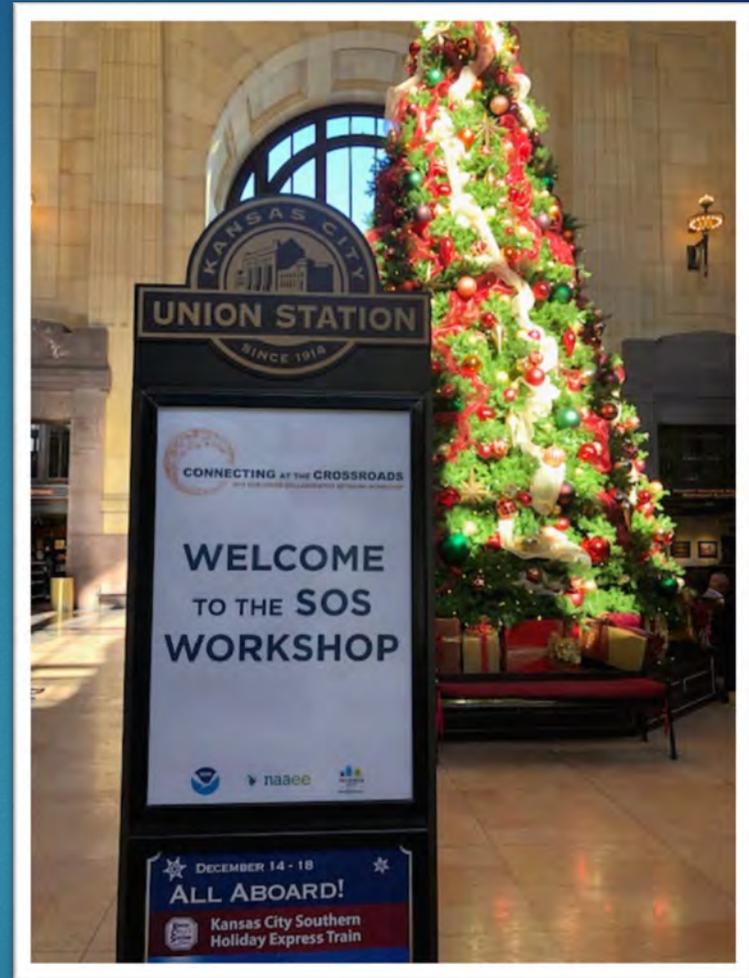


4つのダジック・アース



2015.12 SOSワークショップで発表

- ★なぜ、日本に一つしかないSOSが東松島にあるのか？
- ★どのようなプレゼンテーションをしているのか？



New!

2018.11 SOSワークショップに参加

- ★インド、中国、メキシコなどからも参加していました。

SOSとダジック・アースの楽しさを知るにつれて...

共通点は

たくさんあるデータセットをどう使うか

準備

- ・何を伝えたいのか？何を感じてほしいのか？
- ・プレゼンテーションのストーリー/指導案を考える
- ・言葉に頼らない、「視覚でとらえる」ことの利点
- ・効果的なデータの組み合わせ方は？

プレゼンテーション

- ・好奇心を刺激し、なぜ？と思わせる
- ・「次はこれ、次はこれ、次はこれ...」ではなくて「これは... (hold)」
考えさせる、考える時間をとる
- ・子どもたち（大人でも）は見るだけでなく参加する

2018年のワークショップのタイトル

“CONNECTING AT THE CROSSROADS”

ディスカバリーセンターは

- * 子どもたちとScience On a Sphere®
- * Science On a Sphere® とダジック・アース
- * 人と人

子供たちの記憶→未来へ

